

令和3年度 事務事業見直しについて

I 事務事業の見直し・再構築の概要

1 目的・めざす姿

区政を取り巻く環境が厳しさを増している中、持続可能な自治体経営の実現に向け、「ヒト・モノ・カネ」等の限られた経営資源を区民が真に必要とする施策に振り向けていくため、昨年度に引き続き、今年度においても集中的に事務事業の見直しに取り組む。

2 重点的に見直す事務事業

- ①行事・イベント事業
- ②講座・セミナー・研修（区職員を対象としたものを除く）
- ③周知・普及啓発事業



3 重点事業以外

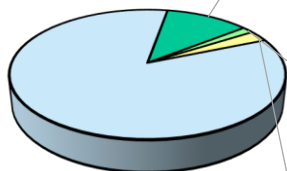
各部局の自主的な見直し

II 事務事業の見直しによる効果

令和3年度削減額

【重点事業 203項目 61,145千円】
【総計 317項目 384,918千円】

重点事業以外
323,773千円
(84%)



重点事業
(行事・イベント)
44,545千円(11.6%)

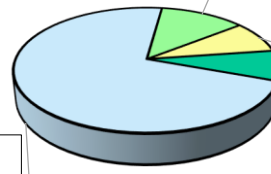
重点事業
(周知・普及啓発)
6,067千円(1.6%)

重点事業
(講座・セミナー)
10,533千円(2.8%)

令和4年度削減額

【重点事業 200項目 193,421千円】
【総計 313項目 661,767千円】

重点事業以外
468,346千円
(70.9%)



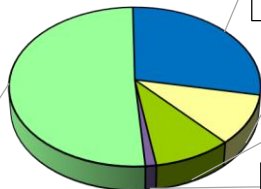
重点事業
(周知・普及啓発)
79,316千円(11.9%)

重点事業
(講座・セミナー)
54,388千円
(8.2%)

重点事業
(行事・イベント)
59,717千円(9.0%)

令和3年度見直し状況

その他
50.8%



効率化・簡素化
28.1%

縮小
10.1%

休止
9.8%

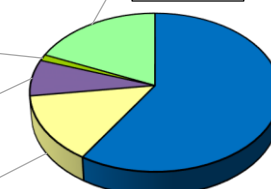
廃止
1.2%

令和4年度見直し状況

休止
1.9%

廃止
7.4%

縮小
13.7%



その他
18.2%

効率化・簡素化
58.8%

III 令和4年度に向けた見直し・再構築の主な事例

○ 健康ポイント事業

景品内容を物品から、電子クーポン中心に切り替えることで、利用者の利便性を高め、さらに景品当選者数を増加させる。

○ 食品ロス削減プロジェクト

出前授業については、これまでの外部業者への委託方式から、食品ロス削減に取り組む企業の協力を得て実施する方式へと移行。

○ 産後家事・育児援助事業

大田区子育て応援メールと連携し、これまでの単発で情報発信する方法に加え、対象者に定期的に発信する方法を追加する。

○ 大田区クリーンキャンペーン

春・秋の年2回実施していた「クリーンキャンペーン」を、今後は年1回秋に東京都が都内全域で実施している駅前放置自転車クリーンキャンペーンに合わせての実施に変更する。

★ 限りある経営資源を効果的・効率的に配分しながら新たな価値と魅力を生み出し、地域として成長し続けることで持続可能な自治体経営を実現する